

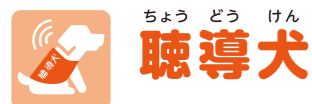
# 身体障害者補助犬について

身体障害者補助犬とは、目・耳・手足に障がいのある方の生活をサポートする「盲導犬」「聴導犬」「介助犬」のことで、「身体障害者補助犬法」に基づき認定された犬で、特別な訓練を受けています。障がいのある方のパートナーであり、ペットではありません。きちんと訓練され管理も行われているので、社会のマナーも守れますし、清潔です。「犬だから」という理由で受け入れを拒否しないでください。



## 盲導犬

視覚障がいのある方が、街なかを安全に歩けるようにサポートします。障害物をよけたり、立ち止まって曲がり角を教えたりします。ハーネス(胴輪)を付けています。



## 聴導犬

聴覚に障がいのある方に音を知らせます。お湯の沸いた音、ドアチャイム、電話の着信音などをきき分けて伝えます。「聴導犬」と書かれた表示を付けています。

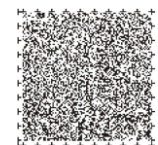


## 介助犬

手や足などに障がいのある方の日常生活動作をサポートします。電気をつけたり、物を拾って渡したり、着衣・脱衣の介助などを行います。「介助犬」と書かれた表示を付けています。

### 身体障害者補助犬の受け入れに、ご理解とご協力をお願いします。

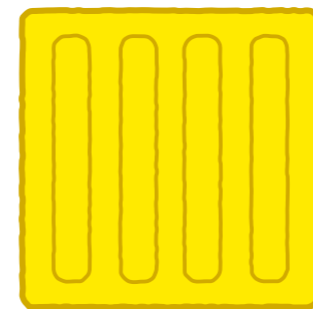
- 補助犬の同伴を受け入れる義務があるのは、次の場所です。
  - ・ 国や地方公共団体などが管理する公共施設・公共交通機関(電車、バス、タクシーなど)
  - ・ 不特定かつ多数の人が利用する民間施設-商業施設、飲食店、病院、ホテルなど
  - ・ 事務所(職場)-国や地方公共団体などの事務所-従業員50人以上の民間企業
- 補助犬の受入施設の方へ
  - ・ 補助犬は、補助犬ユーザーの指示に従い待機することができるので、特別な設備は必要ありません。
  - ・ 補助犬の同伴を受け入れる際に、ほかのお客から苦情がある場合は、「身体障害者補助犬法」で受け入れ義務があること、補助犬の行動や健康の管理はユーザーが責任をもって行っていることを説明し、理解を求めてください。
  - ・ 補助犬を同伴していても、慣れていない場所に行くとき、補助犬では対応できない場面などサポートが必要な場合があります。
  - ・ 補助犬ユーザーが困っている様子を見かけたら、声を掛けたり、筆談をしたりしてコミュニケーションをとってください。
- 補助犬への接し方
  - ・ 補助犬ユーザーがハーネスや表示をつけた補助犬を同伴しているとき、補助犬は「工作中」です。
  - ・ 補助犬には、話し掛けたり、じっと見つめたり、勝手に触ったりして気を引く行為をしないようにしましょう。
  - ・ 補助犬ユーザーは与える食事、水の量、時刻をもとに犬の排泄や健康の管理をしているので、補助犬に食べ物や水を与えないようにしましょう。



# 点字ブロックについて

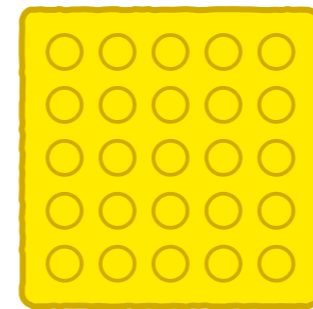
点字ブロックとは、視覚障がいのある方が安全に移動するために、地面や床面に設置された四角形の案内表示のことで(正式名称:視覚障害者誘導用ブロック)。ブロックには突起があり、視覚障がいのある方は、この突起を足の裏や白杖で確認しながら進みます。点字ブロックの色は原則として黄色です。これは、周囲の路面や床面の色と明度や輝度の差をつけて、見えにくい方にも分かるようにするためです。

## 点字ブロックの種類と特徴



### 誘導ブロック

線が並んだ形状をしており、進行方向を示すものです。視覚障がいのある方が、点字ブロックの突起を足の裏や白杖で確認しながら進むことができるように設置されています。



### 警告ブロック

点が並んでいる形状をしており、危険箇所や誘導対象施設などの位置を示すものです。階段前、横断歩道、駅ホーム、誘導ブロックが交差する分岐点などに設置されています。

### 注意!

点字ブロックの上に物を置く、自転車を停める、立ち止まって話すなどの行動は大変危険であるため、絶対に止めてください。

